

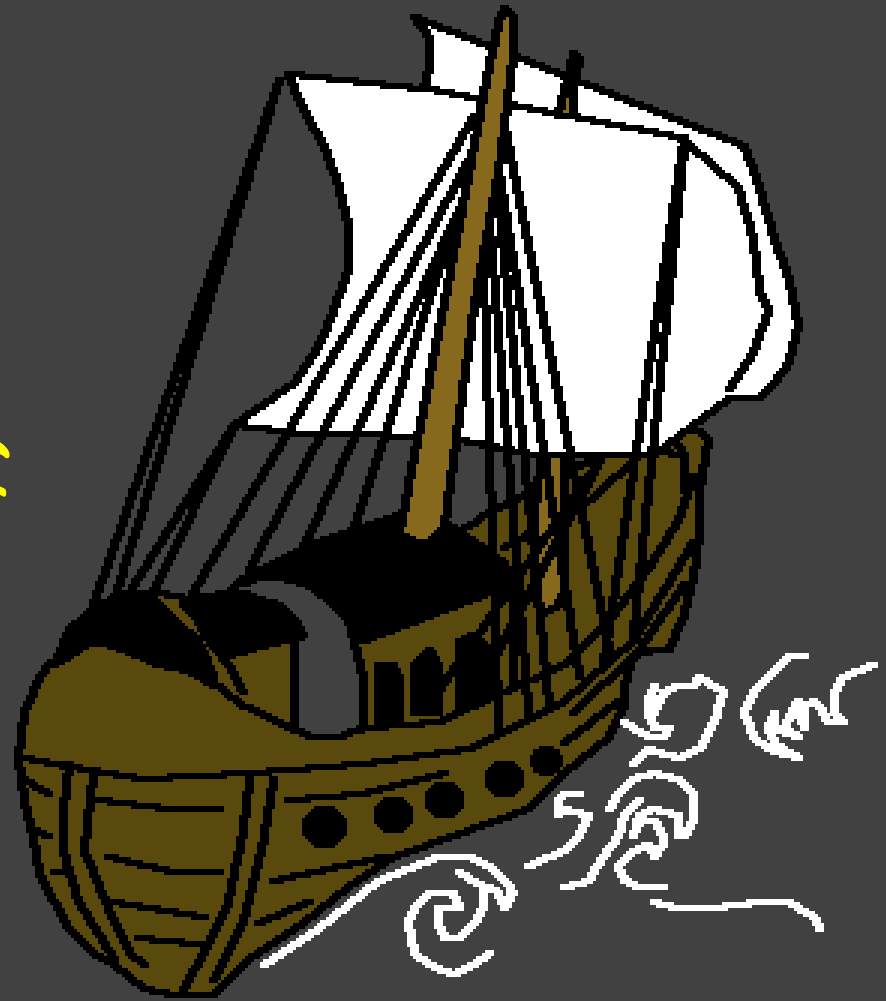
こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

パウロの  
びっくりするような  
たび



ぶん  
文 E. Duncan Hughes

え  
絵 Janie Forest

かいさくしゃ  
改作者 Ruth Klassen

ほんやくしゃ  
翻訳者 Yuko Kajiki

しゅつばんしゃ  
出版社 Bible for Children, Inc.  
[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2008 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし また きよか  
許可： 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。



パウロとシラスは、イエスさまの申し。

なか  
ろうやの中にいますね。なにか、  
わるいことをしたのかな。いいえ、  
なにひとつ、わるいことをしていません。

ふたり おんな ひと なか あくれい  
二人は、女の人の中にいた悪霊をお  
だ ぞう  
い出したのです。そして、ぐう像を

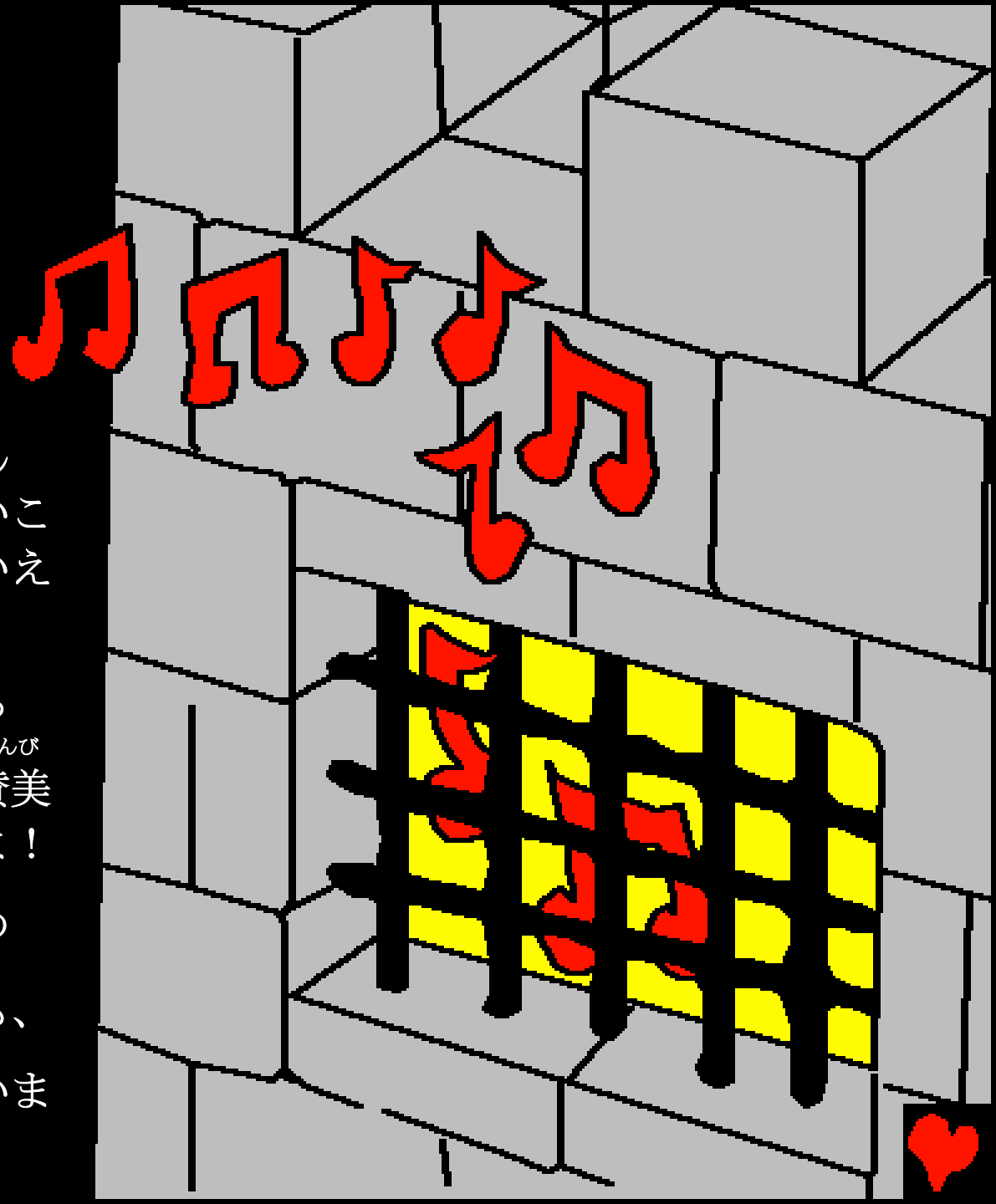
れいはい ひとびと  
礼拝しているエフェソの人々に、  
かみ こ  
ほんとうの神さまと、み子イエス

ちから  
さまの力を見せました。

でも、そのた

ふたり  
めに二人は、  
つかまってし  
まいました。  
むちでうたれ、  
ろうやにとじこ  
められています。





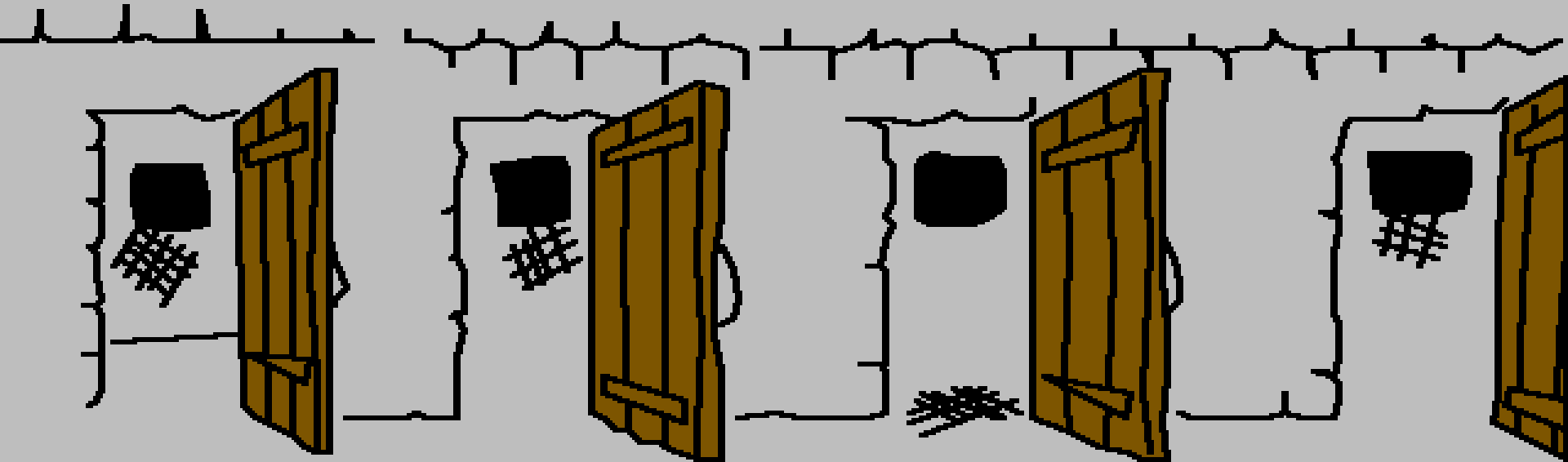
みなさんは、ひょっとして、  
おも  
こう思っているかもしれません  
ね。パウロとシラスは、ひどいこ  
とをされておこっていると。いえ  
いえ、そうじゃありません。

ふたり よなか  
じつは、二人は、ま夜中もずっ  
かみ さんび  
と、おきたまま。神さまへの賛美  
のうたをうたっていたのですよ！

い  
ろうやに入れられているほかの  
しゅうじん み  
囚人も、ろうやの見はりばんも、  
さんび  
みんな賛美のうたを、きいていま  
すね。



とつぜん、うたがやみしました。あっ、じしんです。神さまが、じしんをおこさ  
れて、ろうやをゆさぶりました。ろうやの入り口が、みんなひらいてしまっ  
ていますね。そして、囚人たちのくさりも、みんなはずれています。





うわあ、どうしよう！見はりばんは、おもいました。<sup>み</sup>

このさわぎで、ろうやに入れられた人は、みんなひと

なにげてしまったにちがいない。もし、一人でもひとり

にがしてしまうと、見はりばんは、<sup>み</sup>  
<sup>し</sup>死のぼつをうけるでしょう。かわ

いみそうな見はりばん。かれは、

じぶんの刀かたなをぬきました。

<sup>し</sup>じぶんで死んだほうがいい。  
それで、なにもかも、おしま  
いにしておもうと、おもい  
ました。



けれども、そのときパウロが、大<sup>おお</sup>ごえ  
でさげびました。「やめなさい、じぶん

で死んではいけない。わたしたちは、  
みんなここにいる。」えっ、ほんとう  
だろうか。かれらが、そこにいると

わ<sup>み</sup>かった見はりばんは、言<sup>い</sup>いました。

「先生、すくわれるには、どうしな  
ければいけないのでしょうか。」

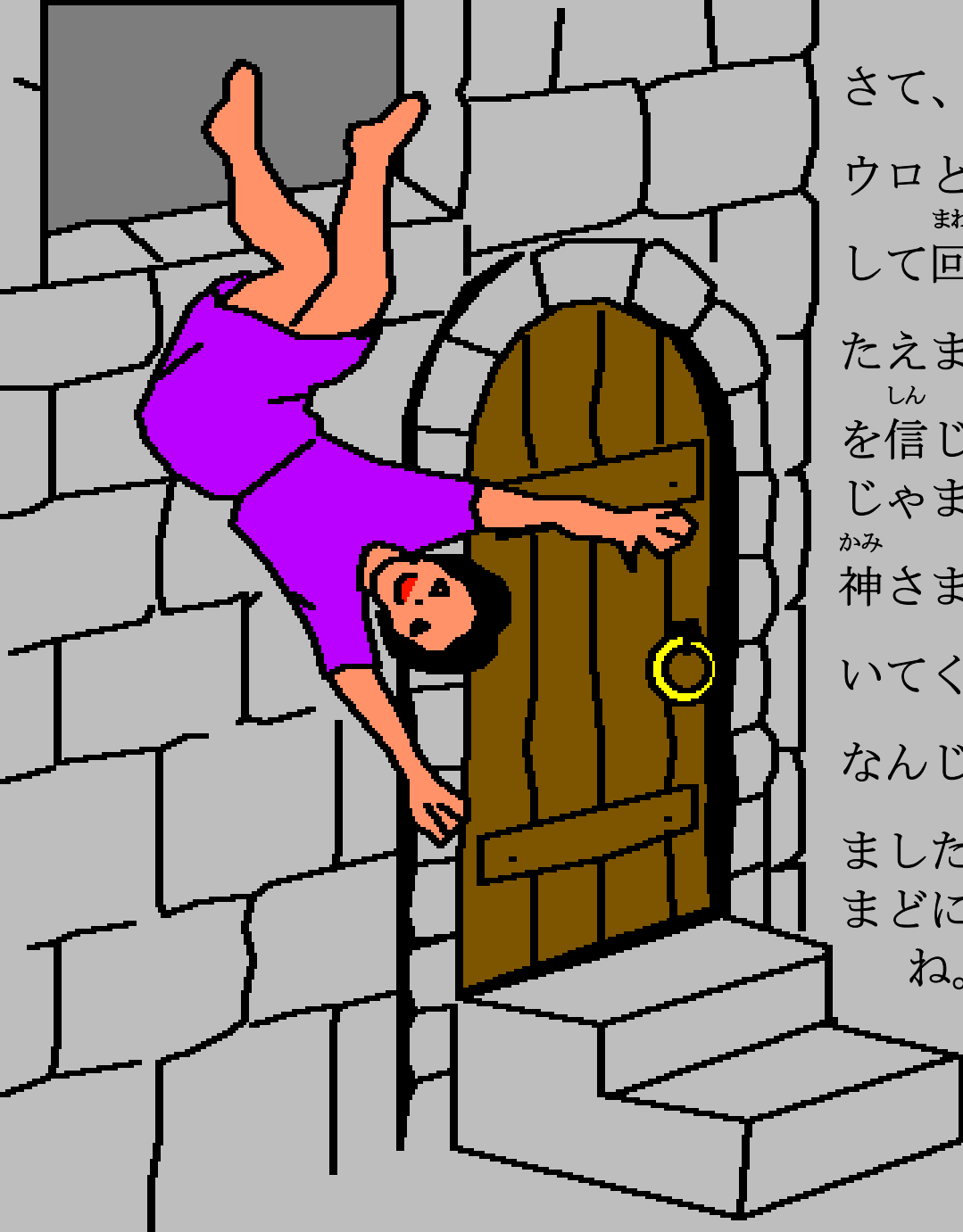
そこで、かれらはこたえました。

「主<sup>しゅ</sup>なるイエスキリストを、信<sup>しん</sup>  
じなさい。そうすれば、すくわ  
れるでしょう。あなたもあなた  
のかぞくも、すくわれるのです。」

こたえをきいた見はりばんは、

大<sup>おお</sup>よろこび。すぐ<sup>しん</sup>に信  
じましたよ。





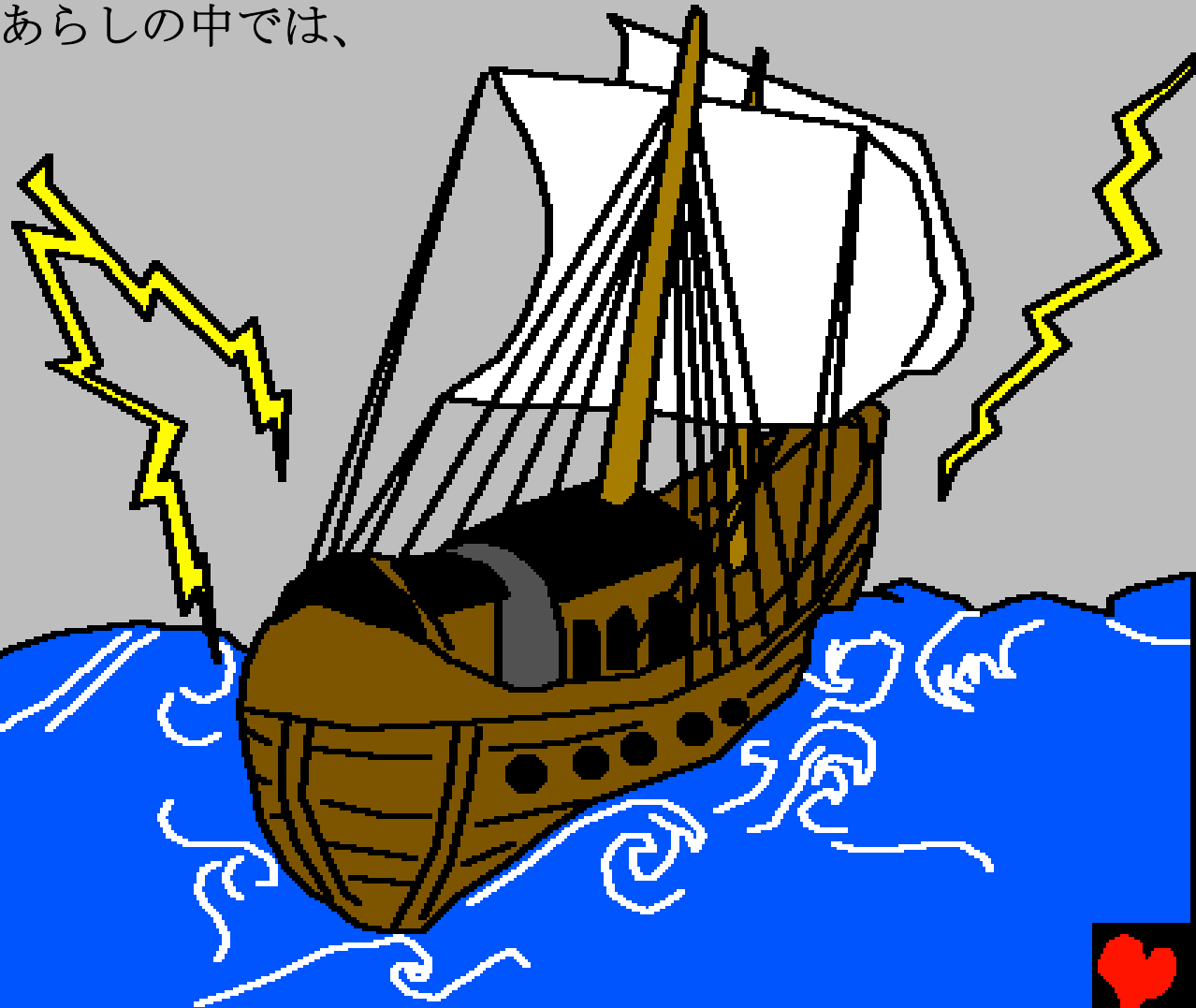
さて、つぎの日です。ろうやから出たパウロとシラスは、いろいろな町を、たびして回り、イエスさまのことを人々につたえました。ある人たちは、イエスさまを信じ、また、ある人たちは、二人のじゃまをしようと思いました。けれども、神さまは、しもべたちのそばに、いつもいてくださいます。ある夜、パウロは、なんじかんも神さまについておしえていました。一人のわかい男が、あいているまどにすわって、はなしをきいていますね。あれっ、すっかりねむってしまったようです。あっ、あぶない、おちそうですよ。みなさん、その人がどうなったか、そうぞうできますか。

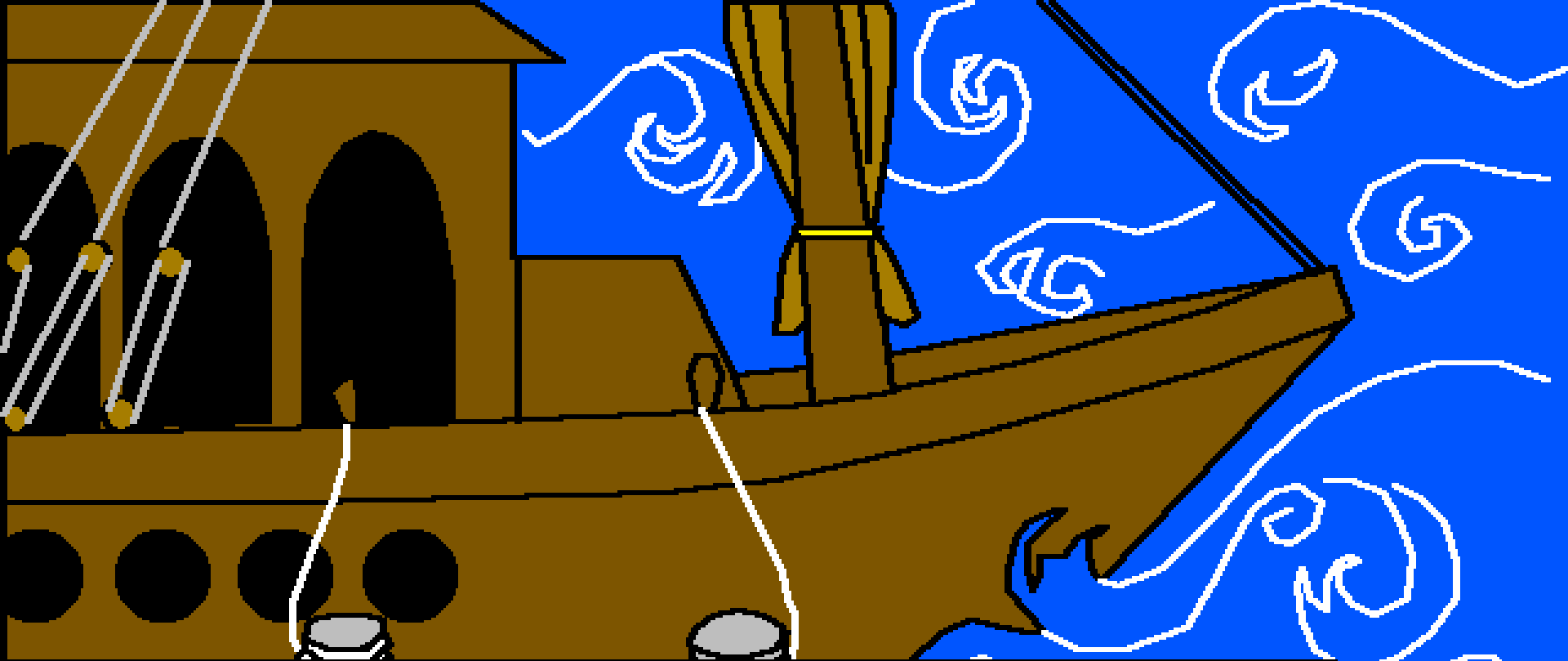


ああ、かわいそうに。みんなは、  
そのわかものは、死<sup>し</sup>んでしまった  
ことが、わかりました。けれど  
も、パウロはどうしたでしょう。  
下<sup>お</sup>りて行き、わかものをだきよ  
せ、言<sup>い</sup>いました。「かれは、生き  
ている。」そのとき、人々は、  
そのわかものが生きかえったとわ  
かったのです。みんな、よろこび  
でいっぱいです。



ヨーロッパをたびしながら、パウロとシラスは、たくさんのぼうけんをしまし  
た。パウロの すばらしいぼうけんの一つを、おはなししましょう。パウロが、  
船ふねにのっているときです。その船は、がんじょうで大きいものではなく、帆ほ  
はっただけの小さいもの。あらしあの中なかでは、  
上がったさり下がったり、  
はげしくゆれますよ。





ふね

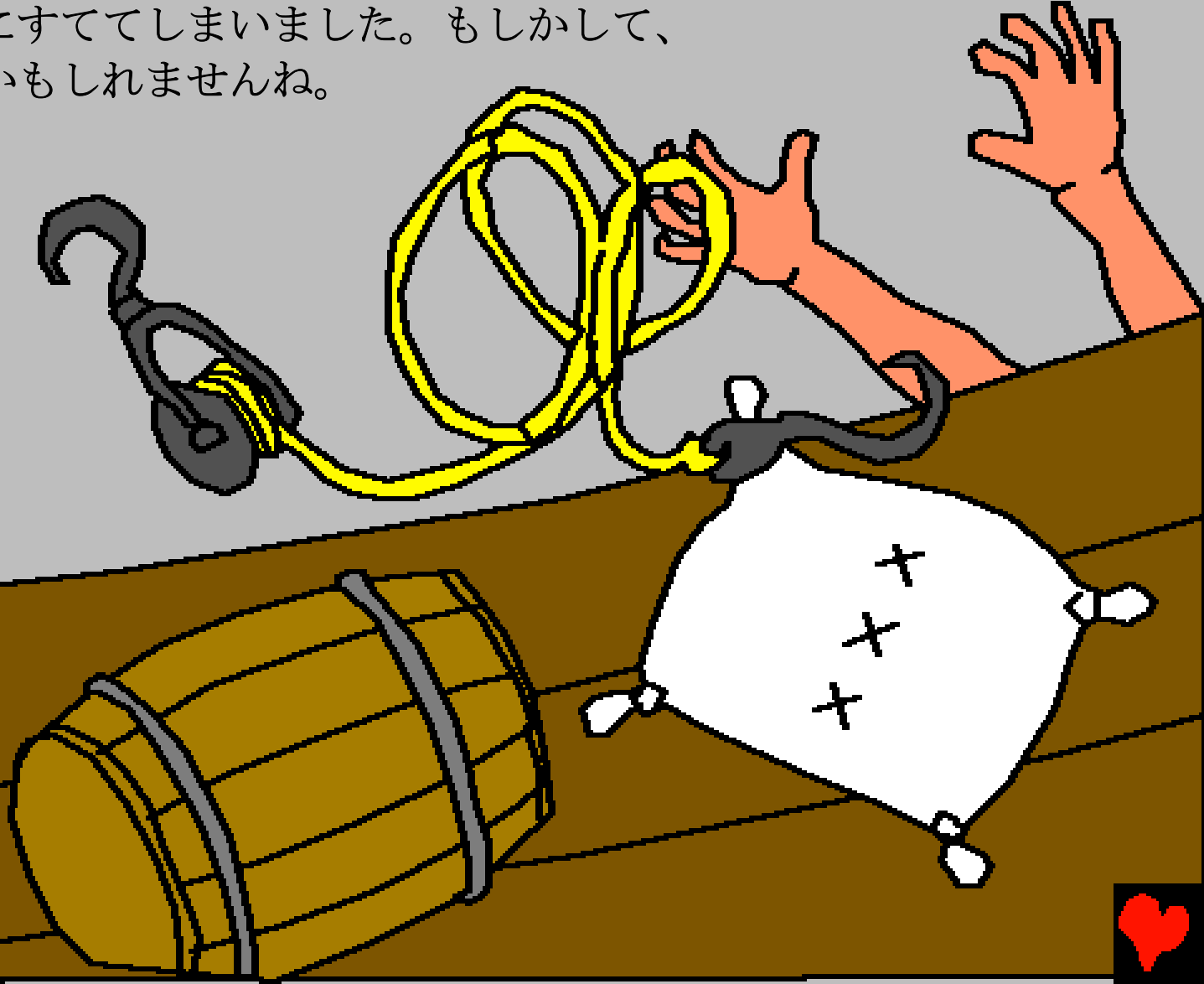
パウロは、その船にのっていました。なぜなら、また、つかまえられて  
しまったからです。かれは、ローマの皇ていのところへ、いかなければなり  
ません。ローマは、そのころ国々の中心の町でした。はげしいかぜがふき、  
船はのろのろ。あつ、止まってしまいましたね。あらしがやってきそうです。  
パウロも、ほかの囚人たちも、船ではたらく人たちもみんな、そのたびは、  
ほんとうにたいへんでした。



「みんな、きいてください。船は、このひどいあらしで、だめになってしまおうでしょう。」パウロは、みんなにつよく言いました。でも、船長は、パウロの言うことなどききません。そのまま海をすすんでいきます。ものすごく大きいあらしが、おそってきました。うわあ、たいへんだ。みんなは、船をそこからロープでまき、しっかりくくりつけました。これで、船がバラバラになりませんように。もし、船がこわれてしまったら、みんな、海のなかで、死んでしまいます。



ふね　　うえ　　した　　みぎ　　ひだり　　せんちょう  
船は、上や下に、右や左にぐらぐら。あまりはげしくゆれうごくので、船長は、  
みんなに命れいしました。「船を、かるくするんだ。」三日めに、みんなは、  
ふね　　うみ　　ふね　　みっか  
船のようぐを、海にすててしまいました。もしかして、  
これでうまくいくかもしれませんね。



よる 天使 てんし た  
夜のあいだ、天使がパウロのそばに立って、つたえました。「だいじょうぶ。  
すべてうまくいきます。」そして、パウロが、みんなにつきのよりに言ったとき、

みんなはゆう気がわいてきました。「さあ、  
みんな、元気をだして。わたしは、神さま  
を信じています。神さまの言われたようにな  
るのです。しかし、  
わたしたちは、かならず  
ある島にうち上げられる  
はずです。」



なん日か、たちました。船はマルタ島のちかくを、なが  
されていったかと思うと、ドシン。水のあさいごつごつ  
した岩にぶつかり、ばらばらになってしまいました。  
船長は、めいれいしました。「さあ、およげる者が、  
はじめに海にとびこんで、りくに上がれ。のこりの  
者も、うまくにげろ。板きれにのったり、こわれ  
た船のはしにつかまったりするんだ。」



ここはマルタ島。神さまは、ここで神の力をみせら

れました。あたたまろうと、みんながたき火をしている  
ときです。まむしが、パウロにかみついたのです。

うわあ、たいへんだ。きっと死んでしまうだろう。人々  
は、そうおもいました。でも、パウロは、ぴんぴんし  
ていますね。まむしのどくなど、へっちゃら。

そこで、島の人々は、パウロは神さまだと

おもってしまいました。びょう気の人が、  
つぎつぎパウロのところにやってき

ました。パウロが祈ると、

神さまは祈りにこたえてく

ださり、人々をすっかりな

おして

ください  
ました。



とうとう、パウロは、ローマにつきましたね。でも、パウロのさいばんがはじまるまで、それから2ねんいじょうも、かかったのです。そのあいだ、パウロはいえをかりて、たずねてくる人<sup>ひと</sup>たちを、よろこんで出むかえました。さて、みなさん、パウロはその人<sup>ひと</sup>たちに、なにについてはなしたか、わかりますか。

もちろん神のみ<sup>かみ</sup>国<sup>くに</sup>！主なるイエスキリストです！パウロは、ローマでも、ほかのどんなところでも、いつでも神さまのよきしもべですね。



「わたしは、たたかいは、りっぱにたたかってきました。わたしは、そのみち  
を、走りとおしました。そして、信こうを、まもりつづけました。」パウロは、  
ローマから、でしにこのてがみを書きました。聖書には、パウロの一生が、どの  
ようにおわったか書いてありません。けれども、ほかのきろくに、パウロは、皇  
ていネロのめいれいで、ローマで首を切られたと書いてあります。いつも、つよ

い信こうをもっていた神さまの

しもべパウロは、生きてい

たときと同じように、

死んでいきました。

人々にイエスキリス  
トについて、はなし

つづけた人でしたね。



# パウロの びっくりするようなたび

かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

しと しょう しょう てがみ に しょう  
使徒のはたらき16章、27-28章、テモテへの手紙二 4章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり

